

農業・食品産業競争力強化支援事業に関する事業評価シート

【事業名】 未来志向型技術革新対策事業のうち技術革新波及対策事業

東北農政局

都道府県名	市町村名	事業実施主体名	取組名	事業実施年度	成果目標の具体的な内容	成果目標関係			事業評価の検証方法	費用対効果分析関係		事業計画の妥当性	適正な事業執行	地方農政局長等の意見
						現状値	目標値	結果		計画値	結果			
宮城県	栗原市	(農事組合法人) 高清水養豚組合	生産性向上	平成20年度	食品残渣（生めん、餃子の皮、菓子屑） 収集・処理量 : 1800ト/年 飼料製造量 : 1026ト/年 全量配合飼料として関連配合飼料工場へ販売、本工場において食品残渣飼料10%配合の豚用配合飼料を製造し、系列養豚農家で利用する。	ト/年	ト/年	ト/年	食品残渣飼料の製造記録、販売記録、養豚飼料製造記録により検証する。	2.55	4.03	1	2	食品残さ収集・処理量、飼料製造量とも目標値を越えており、成果目標は達成された。

- (注) 1 費用対効果分析は、事業採択時と同様の方法で実施すること。
 2 実施要領第6の2の(1)のウにより、地方農政局長等が災害等により事業計画で定めた方法では評価が困難と判断した場合は、その旨を地方農政局長等の意見の欄に記述すること。
 併せて、代替案で事業評価を実施した場合は、一段下の欄に事業評価の検証方法及び評価結果を記入すること。
 3 中間的な評価の場合には目標値の欄に、(中)の記述とともに中間評価の目標値を記載すること。
 4 事業計画の妥当性の欄には計画が妥当な場合には1を、計画が不適切な場合には0を記入すること。
 5 適切な事業執行の欄には、事業が適切に実施された場合には1、適正に実施され、更に競争入札を実施した場合には2を、それ以外の場合には0を記入すること。